

経済的な動画伝送を実現した 符号化方式 VC-32M方式

Moving picture coding/decoding technologies realized economical signal compression and long-distance transmission: VC-32M system

動きの激しい映像をほとんど劣化を感知されることなく長距離伝送するために開発した。32Mbps(電話換算480回線)の帯域を占有して伝送するもので、1枚の画面の中に閉じた処理を行うフレーム内予測符号化方式が用いられている。競馬場から馬券売り場間の長距離動画伝送をはじめ広く適用された。なお、さらに動きの少ないテレビ会議用途に向けては、画面間をまたがった処理(フレーム間複合差分予測方式)も追加して圧縮率を上げ、伝送コストの一層の低減を達成したVC 6Mや1.5Mも開発され、国際標準符号化方式であるH.261方式への土台となった。(画像通信コーナー参照)

フレーム内差分とフレーム間差分の原理

Fundamentals of interframe coding and interframe coding

